



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル  
 コード番号 9713 URL <http://www.rihga.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蔭山 秀一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 坊傳 康真  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6448-1121

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,714	3.6	242	57.1	178	64.8	2,296	445.6
2019年3月期第1四半期	10,075	3.9	564	17.3	506	18.8	420	246.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,399百万円 (453.7%) 2019年3月期第1四半期 433百万円 (210.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	224.17	122.08
2019年3月期第1四半期	41.09	23.59

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	66,244	21,742	32.7
2019年3月期	64,698	19,343	29.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 21,652百万円 2019年3月期 19,268百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,400	0.1	350	34.3	250	38.3	2,100	415.7	205.02
通期	41,500	1.5	2,000	2.3	1,800	0.9	3,300	13.5	322.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	10,271,651 株	2019年3月期	10,271,651 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	28,821 株	2019年3月期	28,790 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	10,242,846 株	2019年3月期1Q	10,243,021 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で米中貿易摩擦への懸念等、海外経済の不確実性の高まりにより先行き不透明な状況が続きました。

ホテル業界においては、訪日外国人数は過去最高を更新しているものの、新規ホテルの開業等により競合環境は厳しさを増しております。

こうした環境下、当社グループは、2019年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定し、「マーケティング力の強化」「生産性の向上・効率化の推進」「人事運営の改革」を重点戦略として、各種取組みを開始しました。

営業面では、堅調な宿泊需要を最大限取り込み、収益機会の最大化に努めました。また、リーガロイヤルホテルならではの付加価値のある商品・サービスを提供するために、お客様のインサイト分析などを行いました。

今年6月に開催されたG20大阪サミットでは、グループの総力を結集して各国の賓客をお迎えし、高い評価を得ました。

施設面では、リーガロイヤルホテル(大阪)において、1階メインロビーを改装しました。お客様をお迎えする「顔」である1階メインロビーの緞通、照明、サインなど空間全体を“伝統と革新”をテーマにリニューアルし、お客様を晴れやかにお迎えする空間を演出しました。また、今年6月にリーガ中之島インを全館改装し、「リーガプレイス肥後橋」にホテル名を改称してリニューアルオープンしました。“スマートで機能性・快適性を追求した、心地よい空間とサービス”をコンセプトに、デザインや機能面で居心地のよさにこだわった客室、開放感あふれるカフェテラスなど上質な空間をしつらえ、お客様満足度向上を図りました。さらに、リーガロイヤルホテル小倉では、今年6月から約2年をかけ大規模リニューアルを進めております。客室全295室の他、1階メインロビー、2階ビュッフェレストラン及びロビー、4階宴会場を刷新し、“-美- Be ROYAL ~自然美、空間美がつくり出す特別な時~”をコンセプトに、北九州・小倉のランドマークホテルとして、街と人をつなぎ永くゲストに愛される場所を目指します。

このように収益拡大に向け様々な施策に取り組んでまいりましたが、婚礼事業の競合激化に伴い婚礼売上が減収したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、9,714百万円と前年同期比360百万円(3.6%)の減収となりました。

損益面では、営業利益242百万円(前年同期比321百万円の減)、経常利益178百万円(前年同期比327百万円の減)となりました。また、繰延税金資産を追加計上した結果、法人税等調整額(益)を2,180百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益2,296百万円(前年同期比1,875百万円の増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループホテルは、2019年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定し、CS・ES・No.1ホテルの実現に向け、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,545百万円増加し66,244百万円となりました。

内訳では流動資産が同874百万円減少し7,523百万円となりました。これは現金及び預金が759百万円減少したこと等によります。固定資産は同2,420百万円増加し58,721百万円となりました。これは当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討したこと等に伴い、繰延税金資産が2,240百万円増加したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ854百万円減少し44,501百万円となりました。これは借入金が、返済等により392百万円減少したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,399百万円増加し21,742百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によります。これにより自己資本比率は、前連結会計年度末の29.8%から32.7%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、本日公表の「繰延税金資産の追加計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、繰延税金資産を追加計上したことに伴い、法人税等調整額(益)を計上したことにより、前回予想を上回る見通しとなりましたので、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「繰延税金資産の追加計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,591	3,832
売掛金	2,548	2,478
原材料及び貯蔵品	403	457
その他	857	757
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	8,397	7,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	60,475	60,466
減価償却累計額	△46,004	△46,028
建物及び構築物（純額）	14,470	14,437
土地	27,000	27,000
リース資産	1,092	1,163
減価償却累計額	△807	△682
リース資産（純額）	284	480
その他	5,245	5,333
減価償却累計額	△4,131	△4,109
その他（純額）	1,114	1,224
有形固定資産合計	42,869	43,142
無形固定資産		
リース資産	76	58
その他	205	205
無形固定資産合計	281	263
投資その他の資産		
差入保証金	11,893	11,893
繰延税金資産	751	2,991
その他	522	444
貸倒引当金	△17	△14
投資その他の資産合計	13,149	15,315
固定資産合計	56,300	58,721
資産合計	64,698	66,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,161	1,035
短期借入金	1,567	1,565
賞与引当金	461	227
その他	4,226	4,008
流動負債合計	7,417	6,836
固定負債		
長期借入金	28,668	28,278
長期預り金	3,280	3,264
退職給付に係る負債	5,500	5,507
商品券回収損引当金	179	179
その他	309	434
固定負債合計	37,938	37,665
負債合計	45,355	44,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,229	13,229
利益剰余金	6,400	8,696
自己株式	△60	△60
株主資本合計	19,568	21,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	26
退職給付に係る調整累計額	△324	△239
その他の包括利益累計額合計	△300	△212
非支配株主持分	74	90
純資産合計	19,343	21,742
負債純資産合計	64,698	66,244



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,075	9,714
売上原価	2,489	2,240
売上総利益	7,585	7,474
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	525	529
人件費	3,454	3,430
諸経費	3,041	3,272
販売費及び一般管理費合計	7,021	7,231
営業利益	564	242
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	2
債務勘定整理益	2	2
その他	7	8
営業外収益合計	14	13
営業外費用		
支払利息	66	62
その他	5	14
営業外費用合計	72	77
経常利益	506	178
特別利益		
受取保険金	-	97
投資有価証券売却益	38	-
特別利益合計	38	97
特別損失		
固定資産除却損	5	81
減損損失	7	41
特別損失合計	13	122
税金等調整前四半期純利益	531	153
法人税、住民税及び事業税	39	22
法人税等調整額	57	△2,180
法人税等合計	96	△2,158
四半期純利益	434	2,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	420	2,296

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	434	2,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	3
退職給付に係る調整額	20	84
その他の包括利益合計	△1	87
四半期包括利益	433	2,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	2,382
非支配株主に係る四半期包括利益	15	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の追加計上について)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第1四半期連結会計期間に繰延税金資産を追加計上いたしました。

これに伴い、当第1四半期連結累計期間において、法人税等調整額(益)を2,180百万円計上いたしました。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## 部門別売上実績

(単位 金額：百万円、構成比：%、増減比：%)

部 門	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減比
客 室	2,583	25.6	2,656	27.3	73	2.8
宴 会	3,674	36.5	3,359	34.6	△ 314	△ 8.6
食 堂	2,149	21.3	2,075	21.4	△ 73	△ 3.4
そ の 他	1,669	16.6	1,622	16.7	△ 46	△ 2.8
合 計	10,075	100.0	9,714	100.0	△ 360	△ 3.6

(注) 受注生産は行っておりません。